

謝辞

1989年 大阪大学工学部建築工学科 建築施工学講座への配属から今日に至るまで、京都大学教授 井上一朗先生（配属当時 大阪大学助教授）には終始変わらぬ懇切丁寧な御指導、御鞭撻を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。また、大阪大学名誉教授 五十嵐定義先生、同 名誉教授 脇山広三先生には日頃から御鞭撻いただき、研究を進めるにあたって多くの御指導を頂きました。厚く感謝の意を表する次第であります。

本論文を纏めるにあたり、京都大学教授 辻文三先生、同 上谷宏二先生には、有益なご指摘を頂戴いたしました。心より感謝いたします。

福井工業大学教授 辻岡静雄先生、大阪大学助教授 多田元英先生には研究当初より有益な御助言とともに温かい励ましを頂きました。厚く御礼申し上げます。

建設省総合技術開発プロジェクト「次世代鋼材による構造物安全性向上技術の開発」『崩壊型と破壊』分科会（主査 井上一朗）に参加させていただき、熊本大学教授 小川厚治先生、京都大学教授 中島正愛先生、建設省建築研究所 長谷川隆様を始めとする委員の方々から有益な御助言を頂きました。特に同分科会のパネル WG のメンバーである神戸大学教授 田淵基嗣先生、同 助教授 田中剛先生、日本鋼管 伊藤茂樹様とはパネルに関する共同研究を通して貴重な御指導・御意見を頂きました。これらの方々から感謝の意を表します。

卒業論文あるいは修士論文のテーマとして研究の遂行にご尽力いただいた当時大阪大学 池澤弘之（現 住友金属工業）、同 勝井達也（現 清水建設）、同 中山豊（現 鴻池組）、同 熊野豪人（現 竹中工務店）、同 宮定 章（現 大阪大学大学院）、同 細川豊史（現 住友林業）、同 向出静司（現 大阪大学大学院）の諸氏を始めとする大阪大学建築施工学講座（現 建築構造システム学領域）の皆様へ深く御礼申し上げます。

末筆ながら、研究成果を引用させていただいた多くの文献著者の方々に対し深く感謝の意を表します。

